

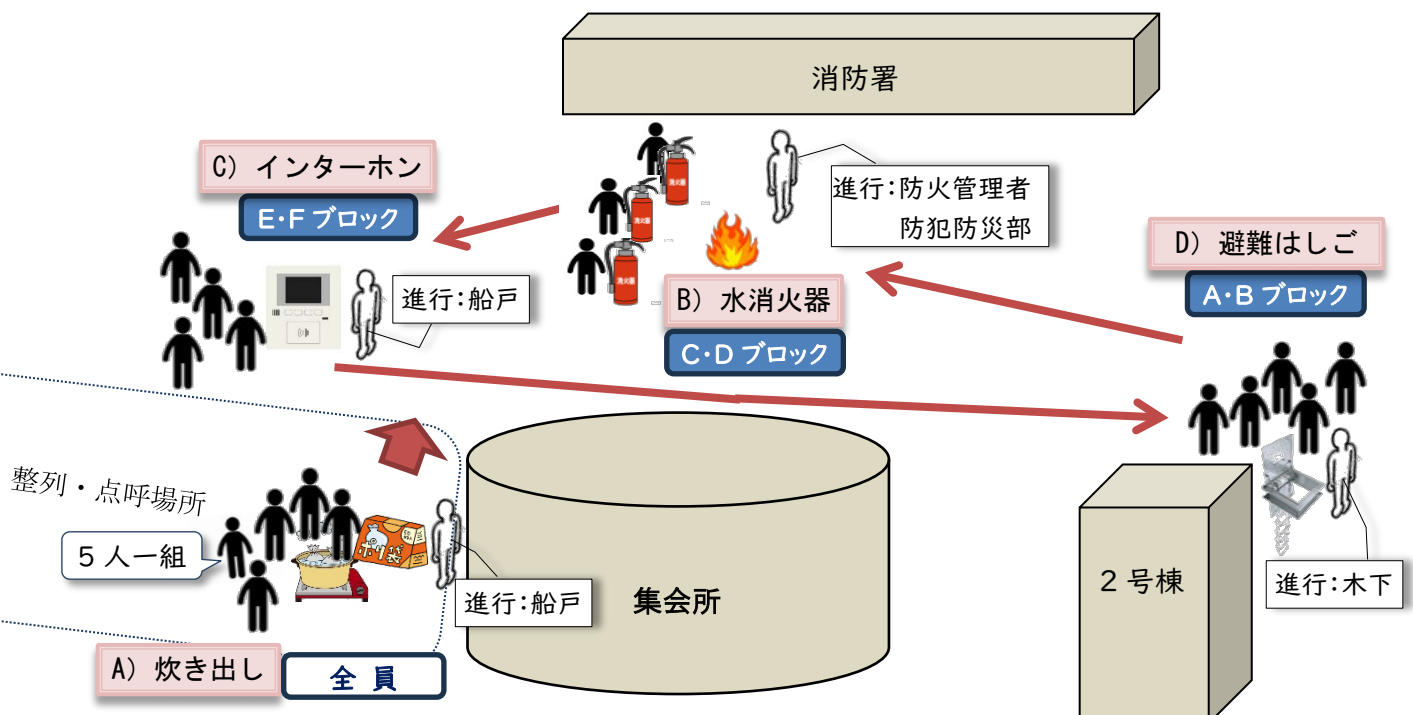
県営栃ヶ沢アパート自治会
2024年度 第2回消防訓練 企画書

1. 概要

- 目 的:** 火災発生時の取るべき行動を確認し、より多くの入居者が参加・体験して、毎年繰り返すことで、アパート全体の実用的な防災力と共助の力を高める。
- 特 徴:** 発煙筒使用、非常ベル鳴動、安否確認サイン掲示など現実味のある訓練
- 日 時:** 2024年11月17日(日)9:00非常ベル鳴動、雨天縮小
(雨天時、体験訓練は希望者のみ集会所で実施)
- 係員集合時間:** 8:30集会所内(防犯防災部は7:30に雨天縮小判断と大鍋準備)
- 避難場所:** 集会所前広場(雨天の場合→「自分のポストのあるエントランス」)
- 火災想定場所:** 1号棟→ Aブロック501号室前、Cブロック614号室前
2号棟→ Dブロック802号室前、Fブロック315号室前
- 訓練内容:** 避難訓練 → 火災を想定(初期消火、通報、避難誘導、点呼など)
体験訓練 → 1+3種類(炊き出し、水消火器、インターホン、避難はしご)
- 主 催:** 県営栃ヶ沢アパート自治会
- 協 力:** 陸前高田市消防署、県大船渡土木センター、岩手県建築住宅センター、いずみ電工、船戸義和(岩手県被災地コミュニティ支援コーディネイト事業)、木下眞美
- 役割説明会周知:** 2024年11月3日(日) ※11月班長は極力手渡し
- 役割説明会:** 2024年11月10日(日)16:30 ~18:00(炊き出し試作含む)
- 訓練周知チラシ配布:** 2024年11月8日(金)頃
- 備 考:** 今年度2回目の訓練であり、消防署員の派遣なし(派遣は原則年1回)

2. 体験訓練の配置と実施内容・方法

- ① **配置:** 下図の通り配置して、避難訓練の整列・点呼後に A) 炊き出しを全員(5人一组)で仕込み、加熱中に3グループに分かれ、各10分の体験訓練3種を実施。終了後に試食。



② 実施内容・方法（指導：防火管理者・防犯防災部・支援者）

- A) 炊き出し 非常時に簡単に作れるポリ袋を使用した炊飯と蒸しパン作りを体験する
- B) 水消火器 正しい操作手順と初期消火の有効性を学ぶ
- C) インターホン 機器の非常用機能や非常ベル・火災報知器との連動・非連動を学ぶ
- D) 避難はしご 仕組みと取り扱い方法を見学し、設置場所を確認（2号棟東端 1・2階）

3. 役割分担

「2024年度自衛消防隊編成 兼 役割分担表」参照

4. 内容（タイムスケジュール目安）

07:30	通常・縮小実施の判断 防犯防災部集合 準備開始（鍋など）	避難訓練 20分
08:30	係集合 打合せ（集会所内で出欠、役割分担確認）	
08:50	係配置（8:59 発煙）	
09:00	火災発見 非常ベルを押して周知、避難開始	
09:02	各係は、各棟 1 階の受信盤確認（可能な係のみ）	
09:03	初期消火、通報、避難誘導にわかれる	
09:10	集会所前集合 点呼→集計→隊長→防火管理者への避難状況報告	
09:20	炊き出し仕込み（5 人一組、10 分）	
09:30	各種体験訓練（AB・CD・EF ブロックの 3 グループ、10 分×3 回）	
10:05	結果発表と講評	
10:10	閉会挨拶と連絡	
10:15	片付け（参加者に手伝い呼びかけ）	

5. 事前に準備するもの（担当者）

全戸配布用チラシ（船戸）	大鍋2つ（市社会福祉課 村上氏、8 日朝）
自衛消防隊編成兼役割分担表（支援者）	ガス・ガス台（自治会手配、9 日）
集会所掲示用ポスター（A3 サイズ）	水消火器体験用的4個（菊池副部長作成）

6. 当日用意するもの（担当者）

整列用プラカード（防犯防災部）	テーブル 12 本（防犯防災部）
実績記入票、各チェック表（支援者）	筆記用具（防犯防災部）
クリップボード 15 枚（中川会長）	発煙筒 4 本（中川会長）
ワイヤレスマイク 2 本（防犯防災部）	発煙筒用砂入りバケツ 4 つ（菊池副部長）
紙皿、割りばし、米 5kg・2kg（米澤副部長）	水消火器：消防から 9 本借用（米澤副部長）
時間計測用ストップウォッチ 3 個（中川会長）	ホットケーキの粉、ジュース、レーズン、水、ポリ袋、マスキングテープ、手袋（船戸）
家庭用鍋 2 つ（防犯防災部）	カセットコンロ 2 台・カセット（船戸）

以上